



演題: オンライン学術集会開催機能



目次

- I. 開発ソフトウェアの概要
- II. 従来の演題抄録収集機能
- III. オンライン学術集会開催機能(1)
ー従来の演題抄録収集システムの流用部分
- IV. オンライン学術集会開催機能(2)
ー新規開発部分
- V. まとめ

2

第I部.

開発ソフトウェアの概要



新型コロナ以降の学術集会は、 ハイブリッドが標準

ハイブリッド＝ リアル会場
＋インターネットライブ
＋インターネットオンデマンド

- ・ リアル会場開催ができるようになって、オンライン参加もできるようにしないと参加者数を確保できない
⇒オンライン参加に慣れ、時間・旅費の関係から、リアル会場での参加を望まない人が一定数いる
- ・ リアル会場はなくせない
⇒オンライン参加が続いて、かえってリアル会場でのコミュニケーションの重要性を再認識

4



ハイブリッド学術集会で、 開催コストと手間は増える

○インターネット学術集会(オンデマンド又はライブ)の費用分が、従来のリアル学術集会に加算

- 1) 参加者用会員制ホームページの作成・運用費用
- 2) インターネット中継用機器や通信費用は、各段に安くなっているが、機器設定・接続・中継のため人件費は同じ

○オンライン学術集会開催機能開発の目的
新型コロナウイルス流行以降に標準となる
オンライン学術集会、ハイブリッド学術集会を
簡便に安価に開催できるようにすること

5



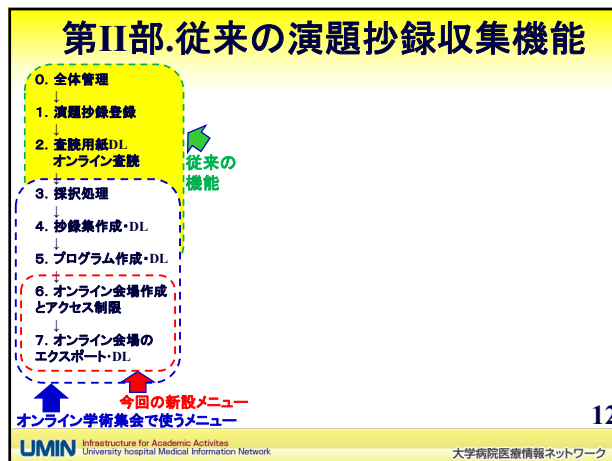
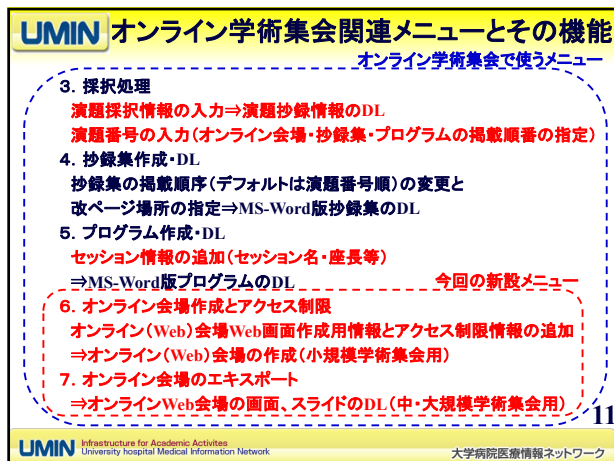
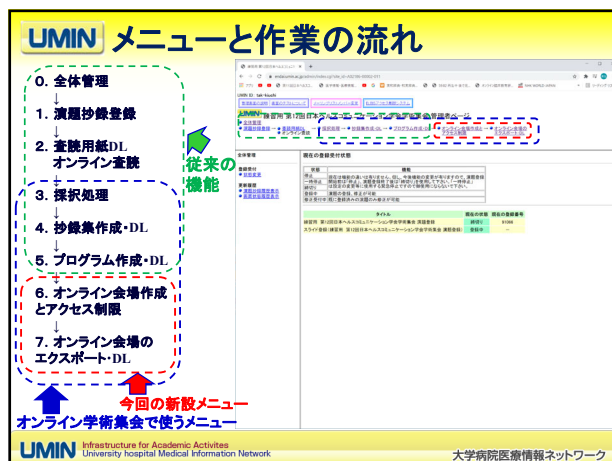
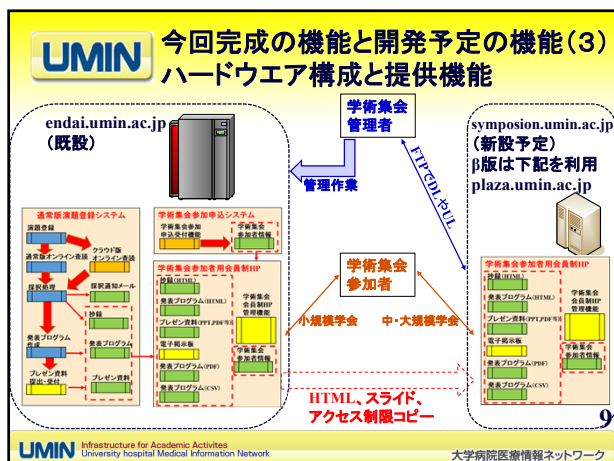
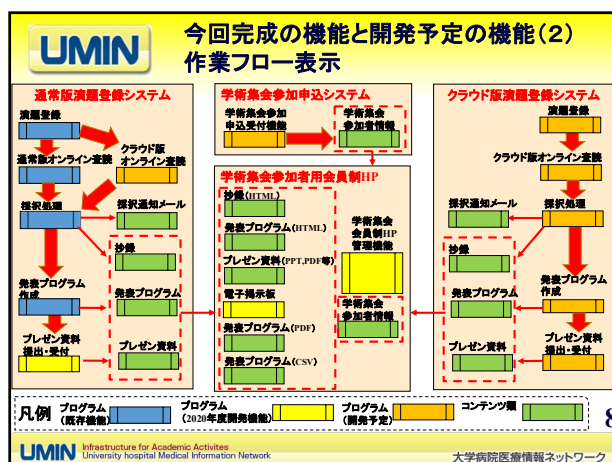
UMIN演題登録システムの オンライン学術集会開催機能とは？

○UMINで演題登録を行う学会が、
オンライン学術集会(＝学術集会参加者だけがアクセスでき、発表プログラム、抄録、プレゼン資料を含む会員制Webページ)を自動作成

○第1期システムでは、具体的には、下記を学会側が実施可能

1. 演題抄録、発表プログラム情報から、会員制学術集会HPを自動作成
2. ID/パスワード発行・自動通知機能等により、会員制学術集会HPのアクセス制限設定
3. プレゼン資料(動画、PDF等を含む)のアップロードの自動受付を行い、会員学術集会HPへ自動転載

6



UMIN (従来の)演題登録機能の解説 (=オンライン学術集会機能以外の機能)

0. 全体管理
 - ・演題抄録の受付開始・停止等の設定
1. 演題抄録登録
 - ・演題抄録の内容確認・修正
 - ・同じ演題抄録の二重登録等の重複チェック
 - ・バックアップ採取
2. 査読用紙DL
 - オンライン査読
 - 1)紙の査読用紙DL(提供済)
 - 2)通常版オンライン査読⇒UMINで設定(提供済)
 - 3)クラウド版オンライン査読⇒学会等で設定(開発中)

13

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医情報ネットワーク

UMIN 0. 全体管理

「登録受付」の「状態変更」画面

・登録開始、停止等の状態の指定が可能

演題抄録登録の履歴

画面状態の遷移(登録開始、停止等)履歴の確認

14

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医情報ネットワーク

UMIN 1. 演題抄録登録

「データ管理」の「確認・修正」画面

・演題抄録を学会側で修正が可能

演題投稿者が使用する演題登録画面を表示

同一の演題抄録が重複して登録されたかのチェックのための資料を表示できる

バックアップ取得が可能

15

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医情報ネットワーク

UMIN 2. 査読用紙DL/オンライン査読

「査読用紙DL」の「(日本語用)氏名・所属あり査読No.4」画面

・MS-Word版の査読用紙をDL可能

1)紙の査読用紙DL(提供済)⇒右画面

2)通常版オンライン査読(提供済)⇒UMINで設定して、URLを通知するので画面からのリンクはない

3)クラウド版オンライン査読⇒学会等で設定(開発中)

16

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医情報ネットワーク

第III部 オンライン学術集会開催機能(1)

従来のシステムの流用部分

0. 全体管理
1. 演題抄録登録
2. 査読用紙DL/オンライン査読
3. 採択処理
4. 抄録集作成・DL
5. プログラム作成・DL
6. オンライン会場作成とアクセス制限
7. オンライン会場のエクスポート・DL

今回の新設メニュー

オンライン学術集会で使うメニュー

17

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医情報ネットワーク

UMIN メニューと作業の流れ

従来のシステムの流用部分

0. 全体管理
1. 演題抄録登録
2. 査読用紙DL/オンライン査読
3. 採択処理
4. 抄録集作成・DL
5. プログラム作成・DL
6. オンライン会場作成とアクセス制限
7. オンライン会場のエクスポート・DL

今回の新設メニュー

オンライン学術集会で使うメニュー

18

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医情報ネットワーク

UMIN オンライン学術集会関連メニューとその機能

オンライン学術集会で使うメニュー

3. 採択処理
 - 演題採択情報の入力⇒演題抄録情報のDL
 - 演題番号の入力(オンライン会場・抄録集・プログラムの掲載順番の指定)
4. 抄録集作成・DL
 - 抄録集の掲載順序(デフォルトは演題番号順)の変更と改ページ場所の指定⇒MS-Word版抄録集のDL
5. プログラム作成・DL
 - セッション情報の追加(セッション名・座長等)⇒MS-Word版プログラムのDL
6. オンライン会場作成とアクセス制限
 - オンライン(Web)会場Web画面とアクセス制限情報の追加⇒オンライン(Web)会場の作成(小規模学術集会用)
 - オンライン会場のエクスポート⇒オンラインWeb会場の画面、スライドのDL(中・大規模学術集会用)

19

UMIN 3. 採択処理(1)

「演題番号」の「一括登録」画面

・演題番号を一括して指定できます。「入力・修正」画面で個別に入力・修正可能です。「確認表示」画面で演題番号の状況を確認できます。

・採択された演題抄録の情報をCSVでダウンロード可能。
・演題番号を入力すれば演題番号も一括にダウンロードされます。

20

UMIN 3. 採択処理(2)

「演題番号」の「一括登録」用のCSVファイル

・演題番号は、演題抄録投稿者が投稿する際にシステムが演題抄録に自動で付与する番号です。

・右のようなCSVファイルで演題番号を一括して指定できます。登録番号に対応する演題番号を指定します。尚、演題番号は、「一括登録後でも「入力・修正」画面で個別に入力・修正可能です。「確認表示」画面で演題番号の状況を確認できます。

・演題抄録は、演題番号の順番に、抄録集、プログラム、オンライン会場(Web画面)で作られます。尚、演題番号は、一括登録後でも「入力・修正」画面で個別に入力・修正可能です。「確認表示」画面で演題番号の状況を確認できます。

・数字を使う場合には、並べ替えが正しく行われるように、桁数にあわせて上の位に「0」を追加してください。印刷順序番号も同様です。
例:「1, 2, 3,21, 22」でなく、「01, 02, 03,21, 22」

・抄録集に限っては、印刷順序番号を指定することによって、演題番号と違う順番で印刷が可能です。印刷順序番号は、「4. 抄録集作成・DL」で個別に変更可能です。また演題抄録に改頁を指定することにより、その演題抄録の直後に改頁が行われます。

21

UMIN 4. 抄録集作成・DL

「抄録集作成・DL」「No.18(rft)1頁2演題(日)」画面

・「発表形式」別もしくは「全演題」で抄録集がDL可能です。オンライン学術集会ではこのメニューの機能は使う必要がありません。

演題抄録の抄録集での印刷順序番号と改頁位置を個別に変更可能です。印刷順序番号と改頁位置の一括登録は、「3. 採択処理」の「演題番号」の「一括登録」でも行うことができます。

著者名索引のダウンロードが可能です。

22

UMIN 5. プログラム作成・DL(1)

「発表セッション」の「入力・修正」画面で、「発表セッション追加」を選択

・右記の発表セッション情報を入力することにより、「発表セッション追加」が可能です。

各発表セッションに、演題抄録情報を紐づけます。次のスライドで説明します。

MS-Word版の発表プログラムをDL可能です。

著者名プログラム作成に必要な情報(演題抄録情報+発表セッション情報+発表セッションと演題抄録の紐づけ情報)をDL可能です。

23

UMIN 5. プログラム作成・DL(2)

「発表演題」の「入力・修正」画面で、「全演題」を選択

・右記のように個別の演題抄録に発表セッションを割り当て、紐づけることが可能です。また「一括登録」メニューから一括登録もできます。

各発表セッションの情報を入力します。

MS-Word版の発表プログラムをDL可能です。

著者名プログラム作成に必要な情報(演題抄録情報+発表セッション情報+発表セッションと演題抄録の紐づけ情報)をDL可能です。

24

UMIN 従来からあった機能の中で、
オンライン学術集会開催に必須の作業

3. 採択処理
・採択された演題抄録の指定は必須
⇒採択された演題抄録のみがその後の作業の対象です。
・演題番号入力は必須(印刷順序番号、改頁指定は不要)
⇒オンライン学術集会のWeb画面での表示順に使われます。

4. 抄録集作成・DL
・必須の作業なし(印刷順序番号、改頁指定は、オンライン学術集会のWeb画面の配列に影響を与えません。)

5. プログラム作成・DL
・発表セッション情報の入力は必須
・発表演題メニューで、個別の演題抄録に発表セッションを割り当て、紐づけることは必須。
⇒オンライン学術集会のWeb画面は、プログラムの似た画面

25

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

第IV部 オンライン学術集会開催機能(2)

0. 全体管理
1. 演題抄録登録
2. 査読用紙DL
オンライン査読
3. 採択処理
4. 抄録集作成・DL
5. プログラム作成・DL
6. オンライン会場作成とアクセス制限
7. オンライン会場のエクスポート・DL

新規追加開発部分のみ

従来の機能

今回の新設メニュー

オンライン学術集会で使うメニュー

26

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN メニューと作業の流れ

0. 全体管理
1. 演題抄録登録
2. 査読用紙DL
オンライン査読
3. 採択処理
4. 抄録集作成・DL
5. プログラム作成・DL
6. オンライン会場作成とアクセス制限
7. オンライン会場のエクスポート・DL

従来の機能

今回の新設メニュー

オンライン学術集会で使うメニュー

27

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN オンライン学術集会関連メニューとその機能

オンライン学術集会で使うメニュー

3. 採択処理
演題採択情報の入力⇒演題抄録情報のDL
演題番号の入力(オンライン会場・抄録集・プログラムの掲載順番の指定)

4. 抄録集作成・DL
抄録集の掲載順序(デフォルトは演題番号順)の変更と
改ページ場所の指定⇒MS-Word版抄録集のDL

5. プログラム作成・DL
セッション情報の追加(セッション名・座長等)
⇒MS-Word版プログラムのDL

今回の新設メニュー

6. オンライン会場作成とアクセス制限
オンライン(Web)会場Web画面とアクセス制限情報の追加
⇒オンライン(Web)会場の作成(小規模学術集会用)
⇒オンラインWeb会場の画面、スライドのDL(中・大規模学術集会用)

7. オンライン会場のエクスポート
⇒オンラインWeb会場の画面、スライドのDL(中・大規模学術集会用)

28

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 6. オンライン会場作成とアクセス制限(1)
「オンライン会場作成」の「オンライン会場画面設定」(1)

・右記のようにオンライン会場(Web画面)作成に必要で、かつこれ以前の作業では入力されていない以下の情報を入力します。

○サブタイトル: オンライン会場のサブタイトル
○プレゼンの利用: スライド(プレゼン資料)をオンライン会場からリンクするか指定します。リンクしないとスライドが参加者がスライドを参照できません。スライドは、PPT、PDF、動画等が利用できます。
○表示板機能の利用: 表示板機能をどう利用するかを設定します。
○フッター画像リンクの設定: オンライン会場の画面のフッター画像を指定できます。
○外部リンク設定: 次のスライドを参照をお願いします。

29

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 6. オンライン会場作成とアクセス制限(2)
「オンライン会場作成」の「オンライン会場画面設定」(2)

スクロールして、続けます。
一番下に「設定を保存する」ボタンがあります。

○外部リンク設定: オンライン会場からの外部へのリンクの名称とURLを設定できます。
○オンライン会議システム利用設定: 各セッション毎に利用するオンライン会議システム名称とURL、ID、パスワードを設定できます。

30

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

6. オンライン会場作成とアクセス制限(3) 「オンライン会場の作成」の「オンライン会場の表示」(1)

「オンライン会場画面設定」で指定したパラメータで、オンライン会場が表示されます。

- 設定したサタイトル、外部リンクが表示されています。
- セッションのオンライン会場へのリンク、掲示板、座長が表示されています。
- 各演題抄録の演題番号、筆頭発表者、演題名、抄録本文、掲示板がリンクされています。

(以下スクロールして次のスライドに続きます)

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医情報ネットワーク

6. オンライン会場作成とアクセス制限(4) 「オンライン会場の作成」の「オンライン会場の表示」(2)

「オンライン会場画面設定」で指定したパラメータで、オンライン会場が表示されます。

(前のスライドからスクロールして下記に続く)

- 以下同様セッション情報と演題抄録情報が表示されています。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医情報ネットワーク

6. オンライン会場作成とアクセス制限(5) 「オンライン会場の作成」の「プレゼン資料登録の設定」

演題抄録とプレゼン資料の各々について登録開始、締め切り等の設定が可能です。演題抄録が締め切りになっていないとプレゼン資料の登録を開始できません。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医情報ネットワーク

6. オンライン会場作成とアクセス制限(6) 「オンライン会場の作成」の「発表資料登録」(1)

発表予定者が利用するスライド登録画面が参照可能です。IDとパスワードは、演題抄録の登録・更新時に使うものとします。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医情報ネットワーク

6. オンライン会場作成とアクセス制限(7) 「オンライン会場の作成」の「発表資料登録」(2)

著名、所属機関名、抄録が表示され、一番下にプレゼン資料のアップロード、ダウンロード、削除のメニューが表示されます。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医情報ネットワーク

6. オンライン会場作成とアクセス制限(8) 「オンライン会場の作成」の「オンライン会場の固定」

・オンライン会場のコンテンツ(プログラム情報、演題抄録情報、発表資料、電子掲示板)の情報をシステムから、HTML/CSS+発表資料の形で出力して、アクセス制限をした上で、Webサーバ上にコピーします。これを固定と呼びます。

・固定することによって、学術集会の参加者がコンテンツを参照できるようになります。固定しない状態では、管理者しか参照できません。

・管理者が固定作業をしたのにコンテンツの変更を継続しても固定されたコンテンツは変化しません。新たに固定作業をおこなった時点で変化が反映されます。

・「コンテンツ固定(HTML更新)」の実行をクリックした場合には、HTMLのバージョンが更新され、電子掲示板は更新されません。

・「コンテンツ固定(HTML更新)と掲示板の初期化」実行をクリックすると、HTMLの更新とともに掲示板も初期化されます。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大病院医情報ネットワーク

6. オンライン会場作成とアクセス制限(9)

「オンライン会場の作成」の「固定済みオンライン会場の表示」

・固定直後は、「最新のオンライン会場の表示」とまったく同じ画面内容ですが、コンテンツを書き換えれば、画面内容が異なるようになります。

・固定直後でも、「最新のオンライン会場の表示」と異なっているのは、URLとアクセス制限です。「固定済みオンライン会場の表示」の「アクセス制限」は、次の「固定済みのオンライン会場へのアクセス制限」の「管理者のみ」表示される管理用のIDとパスワードでなされます。このIDとパスワードは、UMIN IDとそのパスワードではなく、学術集会専用の使い捨ての管理者IDとパスワードです。

37

6. オンライン会場作成とアクセス制限(10)

「オンライン会場の作成」の「固定済みオンライン会場の表示」

・「固定済みオンライン会場の表示」をクリックすると固定済みのオンライン会場が表示されます。左側のメニューが消えています。

38

6. オンライン会場作成とアクセス制限(11)

「固定済みのオンライン会場のアクセス制限」の「管理者のみ」

・固定後の初期状態は、管理者のみのアクセス制限になっています。「参加者への提供」画面から、「参加者への提供」を許可すると、画面が変わり、再び管理者のみに戻すためのボタンが現れます。

・この例の場合の管理用IDは、「A02186-00002-012」、パスワードは、「#5h4yRc!d#」です。

注意：この管理用IDとパスワードは、現在のバージョンでは、表示されていません。すぐに表示できるようにする作業予定ですが、ダミーの参加者を1名登録すれば、「参加者への提供」を行うことで、画面内容の提供が可能です。

39

6. オンライン会場作成とアクセス制限(12)

「固定済みのオンライン会場のアクセス制限」の「参加者への提供」

・固定後の初期状態は、管理者のみのアクセス制限になっています。「参加者への提供」画面から、「反映開始」をクリックするとその時点で参加者への提供を許可できます。参加者を変更(追加、削除)した場合にも「反映開始」をクリックすると、その変更内容が反映されます。

40

6. オンライン会場作成とアクセス制限(13)

「参加者情報管理」の「新規参加者情報の一括登録」

・新規参加者をCSVで一括登録して追加します(append)。既存参加者の情報は何も変更されません。

41

6. オンライン会場作成とアクセス制限(14)

「参加者情報管理」の「新規参加者情報の一括更新」

・まず既存参加者情報をCSVでダウンロードし、これを書き換えてアップロードすることで既存参加者の情報を一括更新します。

42

UMIN

6. オンライン会場作成とアクセス制限(15)

「参加者情報管理」の「新規参加者情報の個別登録」

・新規参加者情報を個別に1件ずつ登録できます。

画面内容:

- UMIN 第12回日本ヘルスコミュニケーション学会学術会 管理者ページ
- メニュー: 会議情報 → 参加者管理 → 新規参加者作成 → 参加者個人作成
- 新規参加者情報の個別登録
- この画面には、2桁程度の数字を登録する箇所がございます。
- 氏名・所属機関・メールアドレスは必須入力です。

氏名 (姓)	フリガナ
所属機関 (名称)	〒〒〒〒
所属部署	
性別	
メールアドレス (Eメール)	
連絡番号	0000000000
参加区分	() 入会済み () 未入会済み

☒ 新規参加者情報個別登録
☐ 既存参加者情報一括登録
☐ 参加者追加許可
☐ 参加者追加禁止
☐ 参加者追加承認一時登録
☐ 参加者追加承認一時解除
☐ 参加者追加承認期限延長
☐ 参加者への登録通知メール
☐ 参加者通知メールの送信先選択

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital medical Information Network

43

大学院医歯情報ネットワーク

[illegible][illegible]



16. オンライン会場作成とアクセス制限 (18)

「参加者へのID/パスワード通知」の「ID/パスワード通知メール本文の作成」

・参加者に通知するID、パスワードメールの本文を作成します。本文中の[ORG]が所属機関名に置き換わります(下記と画面の「書き方のサンプル」参照)。

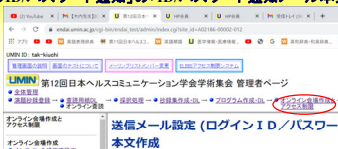
[LOGIN_INFO]
⇒ログイン名とパスワード

[NAME]
⇒氏名

[BUSHO]
⇒所属部署

[ORG]
⇒所属機関

[MEETING_NAME]
⇒学術集会名





6. オンライン会場作成とアクセス制限(19)

「参加者へのID/パスワード通知」の「ID/パスワード通知メール本文の作成」

○メール文面の記載例

[ORG]
 [NAME] 様
 この度は、[MEETING_NAME]の参加申し込みを頂きありがとうございます。
 オンライン学術集金のログインIDとパスワードをご通知いたします。

[LOGIN_INFO]
 オンライン学術集金の日程や参加方法等については本学会のホームページをご確認下さい。

以上、よろしくお願いいたします。

○送信されるメール文面のサンプル

東京大学
 遠征部長 様
 この度は、第12回日本遠征学会学術集金の参加申し込みを頂きありがとうございます。
 オンライン学術集金のログインIDとパスワードをご通知いたします。

ログイン名: A02186-00002-00001
 パスワード: ctSEjg23#1

オンライン学術集金の日程や参加方法等については本学会のホームページをご確認下さい。

以上、よろしくお願いいたします。

47



Infrastructure for Academic Activities
 University hospital Medical Information Network

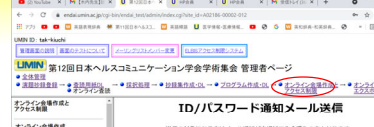
大学病院医療情報ネットワーク



6. オンライン会場作成とアクセス制限 (20)

「参加者へのID/パスワード通知」の「ID/パスワード通知メール送信」

・ID/パスワードをメールで通知します。未通知の参加者のみ送ることも可能です。全員に送ることも可能です。



UMIN 7. オンライン会場エクスポート・DL(5)
「エクスポートされた固定時点のオンライン会場の表示」

・オンライン学術集会のホームページを作成するために必要な演題抄録、発表プログラム等の情報をCSVでDLできます。

・オンライン学術集会のホームページのHTMLもDLできます。

・プレゼン資料は、エクスポート後にFTPでsymposiumサーバからDLする必要があります。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大学病院医療情報ネットワーク

V.オンライン学術集会開催機能の活用を選択肢

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大学病院医療情報ネットワーク

UMIN オンライン学術集会機能活用の選択肢(1)
機能の活用範囲

	すべての機能を使う	従来機能のみ使う	従来機能に加えて、プレゼン収集を使う	学術集会参加者ページを自動作成	学術集会参加者ページを作成	学術集会参加者用HP作成機能	ID/パスワード作成機能
演題抄録の登録機能(従来機能)	○	○	○	○	○	○	○
プレゼン資料登録機能	○	○	○	○	○	○	○
学術集会参加者用HP作成機能	○	○	○	○	○	○	○
ID/パスワード作成機能	○	○	○	○	○	○	○
オンライン学術集회를UMINのサーバで開催	○	○	○	○	○	○	○

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大学病院医療情報ネットワーク

UMIN オンライン学術集会機能活用の選択肢(2)
すべての機能を活用する場合の選択肢(1)

- オンライン学術集会機能でエクスポートせずに学術集会を開催
⇒オンライン学術集会は、ENDAIサーバで実施
(自由度少、コスト小→小規模学会向け)
- オンライン学術集会機能でエクスポートして学術集会を開催
⇒オンライン学術集会は、PLAZAサーバで実施
(自由度大、コスト大→中・大規模学会)

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大学病院医療情報ネットワーク

UMIN オンライン学術集会機能活用の選択肢(3)
すべての機能を活用する場合の選択肢(2)

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network
大学病院医療情報ネットワーク